

○水生生物モニタリング調査結果一覧（いわき市沖M）

<いわき市沖M 水質底質採取項目>

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
M-1	－	○	－	－	○	－
M-2	○	○	○	○	○	○
M-3	－	○	－	－	○	－

<いわき市沖M 現場測定項目>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		水質 水温 (℃)	底質				その他		
	緯度	経度	日	時刻 (水)		時刻 (泥)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)
M-1	37.1736°	141.0788°	H28. 12. 3	－	07:47	－	15.0	細砂	7.5Y4/1	貝片少々	－	－
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°		08:15	08:42	14.2	14.8	細砂	7.5Y4/1	貝片	42.6	11.6
M-2 (下層)				08:20								
M-3	37.2324°	141.0935°		－	09:06	－	14.8	細砂	7.5Y4/2	貝片	－	－

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
M-2 (表層)	37.1996°	141.0853°	H28. 12. 3	08:15	8.0	<0.5	1.1	8.3	5060	33.95	1.1	2	0.7	N.D. (0.0013)	0.0046	－
M-2 (下層)				08:20	8.0	<0.5	1.1	8.1	5130	33.96	1.4	3	2.4	N.D. (0.0014)	0.0050	0.00071

注) N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<いわき市沖M 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質>

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2～75mm) (%)	粗砂 (0.85～2mm) (%)	中砂 (0.25～0.85mm) (%)	細砂 (0.075～0.25mm) (%)	シルト (0.005～0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
M-1	37.1736°	141.0788°	H28. 12. 3	07:47	7.9	246	22.4	1.9	1.9	2.760	0.0	－	2.9	88.6	3.2	5.3	0.15	0.85	4.4	36	－
M-2	37.1996°	141.0853°		08:42	7.9	236	28.8	1.8	1.5	2.786	0.0	－	2.8	90.1	4.2	2.9	0.15	0.85	3.5	25	N.D. (0.14)
M-3	37.2324°	141.0935°		09:06	7.9	243	28.5	1.8	1.6	2.775	0.0	1.3	4.3	88.3	3.3	2.8	0.16	2.0	6.9	36	－

<いわき市沖M 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム (Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)	
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137		
M-1 M-2 M-3	久之浜沖	37.1736° 37.1996° 37.2324°	141.0788° 141.0853° 141.0935°	H28. 12. 3	棘皮動物	ヒトデ	キヒトデ	キヒトデ	<i>Asterias amurensis</i>	キヒトデ		3	0.77	成体	－	－	N.D.	N.D. (0.25)	N.D. (0.24)	－
					脊椎動物	硬骨魚	カサゴ	ホホウ	<i>Chelidonichthys spinosus</i>	ホウボウ		2	0.66	成魚	エビ類	内臓除去	1.63	0.33	1.3	－
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Pseudopleuronectes herzensteini</i>	マガレイ		2	0.89	成魚	ゴカイ類	内臓除去	2.12	0.42	1.7	－
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	カレイ	<i>Eopsetta grigorjewi</i>	ムシガレイ		3	0.92	未成魚	エビ類、カニ類	内臓除去	1.6	N.D. (0.49)	1.6	－
					脊椎動物	硬骨魚	カレイ	ヒラメ	<i>Paralichthys olivaceus</i>	ヒラメ		1	0.95	成魚	空胃	内臓除去	0.53	N.D. (0.35)	0.53	－
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	スズキ	<i>Lateolabrax japonicus</i>	スズキ		2	3.5	成魚	魚類	内臓除去	3.35	0.55	2.8	0.080
					脊椎動物	軟骨魚	カンキエイ	カンキエイ	<i>Okamejei kenojei</i>	コモンカスベ		2	1.6	未成魚	エビ類	内臓除去	4.96	0.66	4.3	－
M-4	久之浜沿岸	－	－	H28. 12. 3	藻類・植物	褐藻	ヒバマタ	ホドガラ	<i>Sargassum horneri</i>	アカモク	－	0.29	－	－	－	6.03	0.93	5.1	－	
					軟体動物	腹足	古腹足	ミカイ	<i>Haliotis sp.</i>	アワビ類		3	0.45	成体	－	軟体部	0.74	N.D. (0.30)	0.74	－
					棘皮動物	ウニ	ホウニ	オホフウニ	<i>Strongylocentrotus nudus</i>	キタムラサキウニ		5	0.71	成体	－	－	1.2	N.D. (0.22)	1.2	－

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓（胃、腸）の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン（浮遊藻類）とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物（藻類を含む）とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D. は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。